

今回は、日本包装リースが数あるリース会社のなかで、いかに特異な存在であるかにスポットを当てたいと思います。

総合リース会社との違い

私は農協系の総合リース会社に26年間勤務し、その後、縁あって09年1月から弊社に席を置き、現在に至っております。

日本包装リースで、まず驚愕したのは、リース会社が包装機械関連の展示会に出展している事実でした。現在の総合リース会社であれば、その発想すらなく、仮に出版を企画しようとしても、費用対効果の観点から社内決裁が取れないことは目に見えています。

総合リース会社でも20年前までは、機種別営業部が多く存在し、情報通信機器・産業機械・工作機械・医療機器・商業設備・建設機械・輸送機械・不動産など、それぞれの専門性を生かし、機械メーカー様から機

械を導入するお客様をご紹介いただく営業方を展開してしました。機種別の展示会には出展しないまでも訪問して、新規製品情報や設備投資情報入手、お客様の新規開拓に注力してしました。

現在の総合リース会社は、リース市場が成熟したこともあり、IT、エネルギー・環境、ヘルスケア関連などの特定分野の営業部を残し、他の機種別営業部は縮小傾向にあります。代わりにエリア別にユーザー様を担当する営業部が主流になっていきます。エリア別営業部では、様々な業種のお客様が選択し導入するあらゆる設備・機械をリースするので、リース会社の営業マンが機械の製品知識を持つことは稀です。

それに対し、日本包装リースの営業マンは、包装学校のパッケージングエンジニア専門課程を修了するのをはじめ、展示会や日々の営業活動から包装機械のスペシャリストたることを目指しています。

専門力を発揮するリース会社として

日本包装リースは「包装専門力」をキーワードにして、機械メーカー様との共同カタログ作成、改造・オーバーホール機のリース、定期点検付リース、短期リースの取扱等、同業他社にないサービスを提供して参りま

包装リースだより ②4

株式会社日本包装リースは、日本包装機械工業会の会員が出資して設立した包装機械・関連機械の専門リース会社です

お問合せ先：営業企画室 電話03-6222-2261 <http://www.jpml.jp/>

す。また、包装専門力を
より深め、お客様と機械
メーカー様との橋渡しし
ができるよう今後とも
努力して参ります。

営業企画室長 小嶋雅之